

和東のお茶を守ろう！ 茶畑ボランティア

活動期間：2017年9月30日(土)～10月1日(日) (1泊2日)*

*[体験ボランティアプログラム]は体系的な課外プログラムのため、実際の活動のほかに、事前ガイダンス・振り返り等を別途実施します。

申込締切：9月8日(金) 17:00

日本遺産・和東町でワヅカナタイケンをしてみよう！

わづかちょう

【和東町について】「日本で最も美しい村」*、和東町。京都府南部に位置し、周囲を山に囲まれ、清流が流れる麓の谷間には、昔ながらの集落が点在している。まるで日本の「原風景」のような景観を次世代に残すために、和東の茶畑は京都府景観資産地第一号に登録され、2015年4月には「日本遺産」にも認定された。和東町では、800年ものあいだ続く宇治茶の生産の伝統と歴史を地元の茶農家さんたちが受け継いで来た。現在、和東で生産される茶葉は京都府産の約半数を占め、その品質からも和東のお茶は全国有数の高級茶の一つに数えられている。その一方で、和東町は人口約4200人ほどの小さな町であり、茶畑の数に対する管理する農家が少ないという人手不足、また農家の高齢化などの課題を抱えている。その結果、管理が行き届かない茶畑や荒れた山が増え、和東のお茶畑が減少するといった危機に晒されている現状がある。

*和東町は2013年より「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

お茶の収穫・地元の農家さんの所有する畑での活動・和東町の魅力を発信するイベントのお手伝いを通して、1泊2日で**ボランティア体験**をします。実際の活動と地域の方との交流を通じて、和東町に暮らす人々の**想いや抱える課題**に触れ、学生である**自分にできることを実践**してみませんか？ **普段の大学生活ではできない経験**が得られるはず！

《プログラム実施概要》

【活動期間】2017年9月30日(土)～10月1日(日) (1泊2日)

【活動内容】ボランティア体験(お茶の収穫、農家さんが所有する畑のお手伝い、和東町の魅力を伝えるイベント補助スタッフ)、地元の方々との交流など(予定)

【活動受入場所】和東町地域力推進課、(一財)和東町活性化センター、地元お茶農家さん(和茶園・植田様)、ほっこりサークル など

【宿泊】地元・和東町にお住まいの方の個人宅への民泊体験

※場所等の詳細は申込締切後に先方との調整の上、ご連絡します。

【参加費】5000円(宿泊費、1日目の夕食、2日目の朝食・昼食を含む)

※1日目の昼食代、自宅から現地までの往復交通費は別途自己負担

【対象】同志社大学学生 【定員】10名**【先着順】**※定員に達し次第締切

【応募条件】事前ガイダンス(9/28)・振り返り会(10/4)への参加**【原則必須】**

【申込方法】ボランティア支援室(ji-volun@mail.doshisha.ac.jp)へメール申込

件名「体験ボランティア申込」 本文①氏名②学生ID③志望動機(200字程度)

※食事アレルギーや体調面等、プログラム参加において配慮が必要な方は、申込時にお知らせください。

地元お茶農家(活動受入先) 和東茶生産農家「和茶園」



代表 植田 修氏

大阪府・枚方市出身、都市部育ち。高校を在学中に北海道の牧場でインターンシップ、社会人生活を送った後にニュージーランドで約1年間ワー

キングホリデーを経験。海外での生活を通して日本に目を向けるようになった。その時参加した和東町での**ボランティアでの経験が決め手となり、茶人になることを24歳の時に決意**。学校・修行を終え、新規就農者として独立、和東の地に「和茶園」をスタートさせる。近年は、都市部の人たちへの和東茶の普及活動のため、農業作業体験・ファームステイ・ボランティアの受入、イベント・地域のお祭りへの参加・田舎体験プログラム等を企画。町外からの2人目の新規就農者として、和東町の課題に向き合い、和東町のお茶作りの伝統を守り次の世代に継承していくために、精力的に活動を行っている。

問い合わせ先：ボランティア支援室

今出川校地(寒梅館1F) 075-251-3236 ji-volun@mail.doshisha.ac.jp

京田辺校地(多目的ホール1F) 0774-65-6777 jt-volun@mail.doshisha.ac.jp